

小倉国際流通センター株式会社

I 法人の概要 (平成 31 年 4 月 1 日現在)

- 1 所在地 北九州市小倉北区西港町 109-2
- 2 設立年月日 平成 9 年 9 月 25 日
- 3 代表者 代表取締役社長 徳光 昌己
- 4 資本金 465,000 千円
- 5 北九州市の出資金 20,000 千円 (出資の割合 4.3%)

6 役職員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役 員	7 人	0 人	0 人	7 人
常 勤	0 人	0 人	0 人	0 人
非常勤	7 人	0 人	0 人	7 人
職 員	1 人	0 人	0 人	1 人

II 平成 30 年度事業実績

小倉国際流通センター株式会社は、市内・広域の物流事業の拡大を図るとともに、当地区の物流機能の発展に寄与することを目的として、物流高度化倉庫（小倉国際流通センター）の賃貸業等を行っている。

平成 30 年度の業績概要は、総収入 78,576,987 円、総支出 71,271,123 円、税引前当期純利益 7,305,864 円となった。

1 営業概況

平成 12 年 9 月 1 日に営業を開始した小倉国際流通センターは、平成 30 年に 19 年目を迎えた。「最低限のコスト体質による事業運営」という方針を徹底した結果、平成 30 年度において 374 万円の純利益を計上した。

2 営業方針

「収益向上の事業運営と今後の経営方針の確立」

3 主要な事業内容

- ・不動産賃貸業
- ・北九州港における物流機能の整備についての調査研究
- ・北九州港への航路誘致、集貨のための情報収集、調査研究等
- ・前各号に付帯または関連する一切の業務

Ⅲ 平成30年度決算

1 貸借対照表(総括表)

平成31年3月31日現在(単位:円)

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	【 50,899,696】	【流動負債】	【 5,076,583】
現金預金	36,868,954	未払金	2,375,083
売掛金	14,030,742	未払法人税等	2,470,700
【固定資産】	【 467,017,059】	未払消費税等	230,800
[有形固定資産]	[466,315,489]	【固定負債】	【 14,400,000】
建物	997,372,574	修繕引当金	14,400,000
建物附属設備	121,130,000		
構築物	35,782,000	負債合計	19,476,583
機械装置	70,454,000	純 資 産 の 部	
工具器具備品	354,000	【株主資本】	【 498,440,172】
減価償却累計額	▲758,777,085	[資本金]	[465,000,000]
[無形固定資産]	[145,070]	[利益剰余金]	[33,440,172]
電話加入権	145,070	(その他利益剰余金)	(33,440,172)
[投資その他の資産]	[556,500]	繰越利益剰余金	33,440,172
長期前払費用	556,500	純資産合計	498,440,172
資産合計	517,916,755	負債・純資産合計	517,916,755

2 損益計算書（総括表）

自 平成30年4月 1日

至 平成31年3月31日（単位：円）

科 目	金 額	
【売 上 高】		
売 上 高	78,576,510	78,576,510
売上総利益		78,576,510
【販売費及び一般管理費】		71,271,123
営業利益		7,305,387
【営業外収益】		
受取利息	234	
雑収入	243	477
経常利益		7,305,864
【特別利益】		
他特別利益	2,333,000	2,333,000
【特別損失】		
建物付属設備圧縮損	2,333,000	2,333,000
税引前当期純利益		7,305,864
法人税、住民税及び事業税		3,569,633
当期純利益		3,736,231

IV 令和元年度事業計画

令和元年度の重点実施事項は次のとおり。

1 財務上の取組み

資金的余力を活かし老朽化した倉庫設備の改修に重点を置き、主に電気設備と機械設備の更新を図っていく。

また、手持資金の増加に伴い、出資株主への還元方法を課題として検討する。

2 施設管理・運営上の取組み

小倉国際流通センターの完成から約19年が経過し、施設の老朽化や設備の故障が増加する傾向にある。特に基幹設備である電気設備においては、前年度の想定外の受電ケーブル取替工事や高圧受電盤改修工事に続き、今期は電気室内変圧器及び高圧コンデンサー取替工事にて予算総額597万円（修繕引当金取崩340万円）の改修工事やエレベーターのメインロープの交換工事が予定されている。

また、1年後の令和2年には築20年に至り大規模改修の時期を迎え、本格的な更新工事を計画している。

V 令和元年度予算

1 予定損益計算書

自 平成31年 4月 1日
至 令和 2年 3月 31日 (単位:円)

科 目	平成30年度実績	令和元年度計画	増 減
[売上高]	78,576,510	77,948,556	▲627,954
[販売費及び一般管理費]	71,271,123	71,377,687	106,564
営業利益	7,305,387	6,570,869	▲734,518
[営業外収益]	477	2,000	1,523
受取利息	234	2,000	1,766
雑収入	243	0	▲243
経常利益	7,305,864	6,572,869	▲732,995
[特別利益]	2,333,000	0	▲2,333,000
補助金収益	2,333,000	0	▲2,333,000
[特別損失]	2,333,000	0	2,333,000
建物附属設備圧縮損	2,333,000	0	2,333,000
[税引前当期純利益]	7,305,864	6,572,869	▲732,995
[法人税等]	3,569,633	3,213,000	▲356,633
当期純利益	3,736,231	3,359,869	▲376,362
繰越利益剰余金	33,440,172	36,800,041	3,359,869

VI 役員名簿

令和元年7月1日現在

役職名	氏名	備考
代表取締役社長	徳光昌己	山九(株) 北九州支店支店長
取締役	鶴丸俊輔	鶴丸海運(株) 代表取締役社長
〃	山田康一郎	山田港運倉庫(株) 代表取締役社長
〃	京極明博	(株)上組 八幡支店支店長
〃	東田重樹	北九州市港湾空港局港営部長
〃	黒沢崇	日本通運(株) ひびき海運支店長
監査役	榊原祥浩	日鉄物流八幡(株) 物流営業部 小倉営業所所長